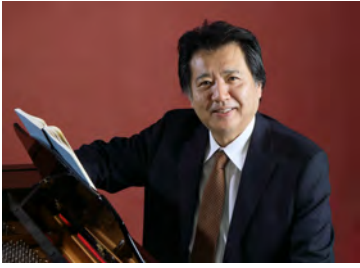


A 演奏する作品へのアプローチ



[講師] 重松 聡

音楽専攻の学生のみならず、すべての段階のピアノ学習者にとって、演奏する作品への理解、共感を深めることは、不可欠の課題です。

本講座では、学習者に広く親しまれている作品を実例として取り上げ、各作品の特質を分析的側面および技術的側面から考察し、学習者の興味を喚起する指導法を探ります。

B 美しい日本歌曲の世界～歌うこと教えること～



[講師] 山口 道子

母国語である日本語をいかに美しく発語し、メロディにのせていくかを発声面と音楽面からアプローチしていきます。

'歌うこと'と'教えること'というコンセプトで、教科書にも載っている日本歌曲の名曲の魅力を探求していきます。

C 弦楽合奏の指導法



[講師] 深山 尚久

弦楽器は、元来、複数人が集まって音楽を創っていく楽器です。

個々のスキルが一定以上になったら、まず取り組むことは合奏です。ここでは培ってきた技術に加え、ルールやマナーをどのように生かして合奏を充実したものにするかを分析し、説明していきます。

D 楽器探訪



[講師] 守重 信郎・脇谷 真弓

武蔵野音楽大学楽器ミュージアムを解説付きで見学します。

歴史的なピアノをはじめとする鍵盤楽器、西洋管弦打楽器の名品、美術的な日本の伝統楽器、珍しい世界の民族楽器をご覧ください。